

令和 7 年度 10 月行事予定			
1	水		中間 考 査
2	木		
3	金	学年集会（全学年）	
4	土		
5	日		
6	月	面接週間（45分授業を基本とする）☺	
7	火	授業料（7月～9月分）及び校納金口座振替 ⑥⑦森林林業木材産業体験学習2回目 （アグリカルチャーコース2年）	
8	水		
9	木	秋祭りかき夫指導	
10	金	⑥総探 祭り指導 自転車点検 JR通学生指導 ⑥愛媛大学出前講座（2年紙のまちづくりコース）	↓
11	土	ベネッセ・駿台記述模試（3年） 高P連進路・女性フォーラム（伊予市）	
12	日	土居の魅力発見サイクリング・ツアー in 土居高校	
13	月	（スポーツの日）	地方祭
14	火		↓
15	水	秋祭り最終日（午前中授業）	↓
16	木		
17	金	①②③実力診断テスト（2年） スタディサプリ到達度テスト（1年） ⑥総探 ⑥愛媛大学出前講座（3年紙のまちづくりコース）	
18	土		
19	日		
20	月	①～⑥30分授業 ⑤⑥修学旅行結団式（2年：武道場）☺	
21	火	⑥⑦金融経済講座（伊予銀 1年） ⑤⑥⑦湾岸施設見学（3年紙のまちづくりコース）	修 学 旅 行 2 年
22	水	⑤⑥SDGs 地方創生講座（1年）	
23	木		
24	金	遠足（1・3年）	
25	土		
26	日		
27	月	45分授業 ☺	
28	火	東予地区人権・同和教育研究協議会	
29	水	身だしなみ指導⑥	
30	木	身だしなみ週間	↓
31	金	⑥総探 ⑥進路ガイダンス（1・2年）	

☺…準スクールカウンセラー来校日

御意見・御感想は電話または FAX でお願いいたします。

電話：0896-74-2017 FAX：0896-74-7221

教務課より

9月30日(火)から2学期中間考査が始まります。社会人になるときに求められる基礎学力や教養を養うとともに、日々の授業や学習の成果を振り返り、確認するための大変重要な考査です。考査前、考査中とも、それぞれしっかりと学習して臨むように、御家庭でも御指導くださいますようお願いいたします。

生徒課より

13日(月)から15日(水)は地方祭となります。本校からは11人の生徒を土居地区地元太鼓台のかき夫として確認していますが、帰宅は21時まで(21時以降は夜間徘徊・補導対象)となります。先日の四国中央市内の輪越しでは、未成年者による夜間の問題行動が発生しております。祭りにはルールを守り、危険な場所には近寄らず、トラブル等に巻き込まれないよう、自分の身体は自分で守る行動を心掛けさせてください。

* 頭髮の染脱色や眉毛の加工、ピアスなどは禁止しています。御家庭でも十分御指導ください。

* 家出、深夜徘徊等が多くなる月です。交友関係には十分気を付けてください。特に、深夜徘徊、外泊は問題行動の温床になるので、絶対にさせないでください。

* 登下校のマナーが悪い生徒が見られます。「道幅いっぱいになって歩かない」「列車には乗客が降りてから乗り込む」「乗車中は鞆を下に置かない」「携帯電話を使用しない」等の基本的なマナーを守ることについて、御家庭でも御指導をお願いします。

●衣替えについて

昨年度から制服の移行期間を廃止しています。気候・活動・学校行事に応じた制服の着こなしを心掛けさせてください。冬服の準備もよろしくお願いします。服装は、夏服または冬服のどちらでもかまいません(男子については、長袖のカッターシャツも可)。ただし、袖を腕まくりしたり、第二ボタンを開けたりするなどの着崩しは認めておりません。また、冬服になると、襟元や袖、裾から中着が出てしまうなど、身だしなみが乱れがちになります。これらの点を踏まえていただき、御家庭におかれましても、御指導をお願いいたします。



小さな行動が作る大きな力 ～掃除とあいさつの意味～

みなさんは、「会社を訪れたとき、どこを見てその会社の姿勢や考え方を判断するのか」という質問に、どう答えますか？ ある経営者はこう言います。



「掃除やあいさつができているか、です」と。

最近、受付に電話機だけが置いてある会社が増えています。それ自体は悪くありませんが、来客がいても社員が声をかけない、あいさつをしない——そんな会社は本当に「お客さま第一」と言えるのでしょうか。掃除の行き届いていないオフィスでは、働く人も居心地がよくないはずです。それで平気な人が、お客さまを大切にできるでしょうか。もちろん、掃除やあいさつをしたから業績が上がるわけではありません。お客さまが買うのは商品やサービスです。しかし、掃除やあいさつは「基礎力」を高める訓練になります。この基礎力とは「思考力」と「実行力」です。きちんと掃除を続けると、自然と気づきが増えます。それが「思考力」を育てます。そして、理屈を並べても、机を拭かなければきれいにならない——この事実が「実行力」を養うのです。

では、社員の意識をそろえるにはどうすればよいのでしょうか。大切なのは、「小さな行動」を繰り返すことです。意識改革という、つい「考え方を変えよう」と言いたくなりますが、まず必要なのは行動です。空手や茶道などの「〇〇道」は、必ず形、つまり行動から入ります。何千回、何万回と同じ動作を繰り返して、初めて心が理解できます。

その一例が、朝の掃除です。ある会社では、毎朝9時から社員全員で事務所を掃除します。社長も男性トイレを掃除します。終わったら朝礼でミッションやビジョンを読み上げ、一人ひとりがその日の予定を発表します。こうした習慣を続けることで、社員同士の小さなコミュニケーションが生まれ、やがて社風になります。ただし、この社風が合わずに辞める人もいます。それでも、無理して続けてトラブルになるより、最初にわかるほうがいいのです。価値観を共有することは、それほど大切なのです。

ビジネスの世界ではもちろん、私たちの学校生活でも同じです。あいさつや掃除は一見、当たり前のこと。でも、その当たり前を続けることで、自分の力が磨かれます。手を動かさなければ、机も心もきれいになりません。小さな行動を大切にする人が、仲間を思いやり、将来どんな場面でも活躍できる人になるのです。

今日から私たちも、あいさつと掃除を丁寧にやってみませんか。そこから、みなさんの「基礎力」が育っていきます。